

# 8 公共交通移動円滑化事業

予算額：769百万円 平成22年度

## 施策概要

高齢者や障害のある人が自立して社会生活を送っていく上で、快適で生活しやすい生活環境の基盤整備は重要な課題であるため、障害者等すべての人が安全に安心して移動し、社会参加できるよう、標準仕様ノンステップバスに補助を重点化することによって、ノンステップバスの普及促進を強力に推進するほか、福祉輸送共同配車センターの実現を図ることにより、公共交通機関等のバリアフリー化を推進します。

## 担当課等

自動車交通部 旅客第一課・旅客第二課  
各運輸支局（輸送担当）

### 標準仕様ノンステップバスの普及の促進

#### 標準仕様採用の効果

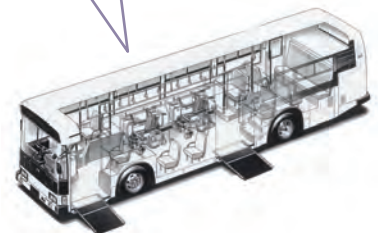
- ・高齢者、障害者を含むバス利用者にとって高い利便性を享受できる
- ・仕様の標準化により大量定型生産を図り、製造コストが低減される

#### 国の支援

- ・通常車両価格（ワンステップバス）とノンステップバス車両価格の差額を、1/2ずつ国と地方公共団体とで協調して補助
- ・標準仕様ノンステップバスに補助を重点化

#### ノンステップバスの普及を拡大

車いすスペース、通路幅等  
について標準仕様化



### 福祉輸送普及促進事業

関係者の協力の下、福祉車両の導入、共同配車センターの設立等先進的な取組みに対して国が地方公共団体と協調して補助。

#### 福祉輸送普及促進地域協議会

地方公共団体

NPO等

タクシー事業者

運輸局等

福祉車両の導入  
通常車両価格との差額の  
1/2を補助



共同配車センターに  
係る通信設備の整備等  
国の補助率1/3



#### 〈平成21年度 支援事例（ノンステップバスの導入事例）〉

○岩国市交通事業、おのみちバス（株）、サンデン交通（株）防長交通（株）、呉市交通局、広島電鉄（株）が  
ノンステップバス（計18両）を導入